

【全学的な海外研修プログラム】

【2025年度】夏期・春期語学研修 報告

研修先名①	Uniersity of Calgary
国	カナダ
渡航期間	2025年8月2日（土）～8月31日（日）
単位認定	学部によっては認められる。
参加者数	10名
学習内容	
事前テストの結果によるレベル別クラスを受講する（100時間/4週間）。授業は3種類に分かれ、それぞれ総合英語、リーディングディスカッション、発音に特化している。授業時間外や週末に行うアクティビティ・プログラム（オプション）では、ドラムヘラー・バンフ日帰り旅行等の課外活動を実施。 【授業内容の例】 英語でのプレゼンテーション、課題本のリーディング、ペア・グループディスカッション、DVDなどを用いた授業 等	
研修終了後	
【必須】 ・ 研修報告書の作成 ※参加者が作成した研修報告書は国際交流センターにて閲覧することができる。 ・ CASECの受験（10名中4名得点アップ） 【任意】 ・ TOEFL ITP®テストの受験	

研修先名②	Canterbury Christ Church University
国	イギリス
渡航期間	2025年8月16日（土）～9月7日（日）
単位認定	学部によっては認められる。
参加者数	14名
学習内容	
総合的な英語スキルを習得するために、本研修では英語4技能とイギリスの生活・文化、イギリスの現地事情などのテーマについて学習する。授業は毎週月曜日～木曜日は3コマ、毎週金曜日は2コマで構成され、複数の講師が授業を担当している。 授業内課題は、学生のレベルに合わせて課されるため、個々のレベルに合った対応を行っている。また、授業とは別に希望者は、CCCUの学生も参加するソーシャルプログラムに参加することができ、現地学生との交流機会も設けている。	
研修終了後	
【必須】 ・ 研修報告書の作成 ※参加者が作成した研修報告書は国際交流センターにて閲覧することができる。 ・ CASECの受験（14名中8名得点アップ） 【任意】 ・ TOEFL ITP®テストの受験	

【全学的な海外研修プログラム】

【2025年度】夏期・春期語学研修 報告

研修先名③	University of Victoria
国	カナダ
渡航期間	2026年2月1日（日）～3月1日（日）
単位認定	学部によっては認められる。
参加者数	9名
学習内容	
初日に実施されるクラス分けテストの結果によるレベル別クラスを受講する（週20時間、4週間）。授業はテーマに沿って行われ、カナダや、国際的な諸問題、社会や文化について学ぶ。また異文化理解やコミュニケーションが目的のワークショップ等も開催されている。授業時間外や週末に行うアクティビティ・プログラム（オプション）では、ホッケー試合観戦・2泊3日のバンクーバー旅行等の課外活動を実施。	
研修終了後	
【必須】 ・研修報告書の作成 ※参加者が作成した研修報告書は国際交流センターにて閲覧することができる。 ・CASECの受験（9名中6名得点アップ） 【任意】 ・TOEFL ITP®テストの受験	

研修先名④	University of Otago
国	ニュージーランド
渡航期間	2026年2月17日（火）～3月22日（日）
単位認定	学部によっては認められる。
参加者数	5名
学習内容	
事前にクラス分けテストを行い、レベル別のクラスに分かれ授業を行う。Elementary、Pre-intermediateのクラスは、週23時間のGeneral Englishを履修する。Intermediate以上のクラスは、週15時間のGeneral Englishおよび週8時間の選択授業（ニュージーランド文化またはIELTSテスト準備クラス）を選択することができる。General Englishでは、Reading、Listening、Speaking、Writing、Grammar and Vocabularyを中心に学習し、少人数でグループワークを主に行いながら、総合的なスキルを身につける。金曜日の午後および週末は、自由行動となり、小旅行など課外活動も充実している。	
研修終了後	
【必須】 ・研修報告書の作成 ※参加者が作成した研修報告書は国際交流センターにて閲覧することができる。 ・CASECの受験（5名中3名得点アップ） 【任意】 ・TOEFL ITP®テストの受験	

【全学的な海外研修プログラム】

【2025年度】夏期・春期文化研修 報告

研修先名①	東国大学校
国	韓国
渡航期間	2025年8月3日（日）～8月16日（土）
単位認定	なし
参加者数	10名
現地学習内容	
平日午前中に韓国語授業、午後にテーマ講義または文化体験が行われる。 韓国語授業は、渡航前に行うオンライン・プレースメントテストの結果に基づき、入門、初級、中級などのレベル別で展開される。参加者は、自身の言語能力や理解度に合ったクラスで学習することができる。 韓国語授業だけでなく、韓国文化や産業分野の専門家によるテーマ講義、様々な文化体験、現地在学生との交流プログラムなどが実施される。 【授業・文化体験内容の例】 ・テーマ講義： 韓国大衆文化について、K-Beauty産業のマーケティング戦略及び最新トレンド ・文化体験： NANTA観覧、漢江遊覧船乗車、韓国料理・キムチ作り体験、K-POPダンス等	
帰国後	
【必須】 ・研修報告書の作成 ※参加者が作成した研修報告書は国際交流センターにて閲覧することができる。	

研修先名②	サイアム大学
国	タイ
渡航期間	2026年2月9日（月）～2月22日（日）
単位認定	なし
参加者数	3名
現地学習内容	
タイの政治、経済、文化の中心地バンコクに滞在し、観光産業に関する講義とグループ別ツアー企画をとおして、ホスピタリティや実践的なコミュニケーションスキル・ビジネススキルを身につけることを目的とする。 使用言語は英語で、観光産業に関する講義やグループプレゼンテーション、タイ料理体験やフィールドワークなど、多様な活動をとおして、ホスピタリティ、英語、タイについて学ぶことができる。 【授業内容の例】 ・講義： 生活に必要な初級タイ語、観光産業のコンセプト、ホテル産業のコンセプト、タイの観光地とその背景、タイの食文化等 ・体験活動： フィールドワーク、タイのテーブルマナー、フルーツカービング、調理実習、タイの伝統舞踊、現地在学生（日本語コミュニケーション学科所属）との交流等	
帰国後	
【必須】 ・研修報告書の作成 ※参加者が作成した研修報告書は国際交流センターにて閲覧することができる。 【任意】 ・CASECの受験 ・TOEFL ITP®テストの受験	

【2025年度】夏期・春期海外インターンシップ 報告

研修先名①	起業体験型インターンシップinセブ島
国	フィリピン
研修期間	2025年8月3日（日）～ 8月14日（木）
単位認定	無し
参加者数	4名
現地学習内容	
フィリピンの社会課題を題材に、英語とビジネスを実践的に学ぶ短期プログラムである。約12日間の現地滞在を通じて、参加者はスラムや孤児院でのフィールドワークを行い、得た一次情報をもとにチームで課題解決型のビジネスプランを立案する。また、語学研修や現地での英語インタビューを通じて、実践的な英語力を身につける点も特徴である。最終的には起業家の前で英語によるプレゼンを行い、実務的なフィードバックを受けることで、課題発見力や主体性を養う。	
帰国後	
【必須】 ・ 研修報告書の作成 ※参加者が作成した研修報告書は国際交流センターにて閲覧することができる。	
【任意】 ・ CASECの受験	

【全学的な海外研修プログラム】

【2025年度】夏期海外個人研修（個人企画型） 報告

研修先名①	作家Sarah Orne Jewettと彼女の作品に対する研究
国	アメリカ
渡航期間	2025年9月1日（月）～9月17日（水）
単位認定	無し
参加者数	1名
現地学習内容	
2週間メイン州とマサチューセッツ州へ滞在した。メイン州では作家に関するHistoric House、Abbe Museum、University of MaineのFogler LibraryとHudson Museumを、マサチューセッツ州ではSalemを訪問した。参加者が自らの研究を進められる研修内容となっている。	
帰国後	
【必須】 ・研修報告書の作成 ※参加者が作成した研修報告書は国際交流センターにて閲覧することができる。 ・研修報告会にて研修内容・成果の発表	

【2025年度】語学留学 報告

研修先名①	University of Otago
国	ニュージーランド
渡航期間	2026年2月17日（火）～8月16日（日）
単位認定	学部によっては認められる。
参加者数	1名
現地学習内容	
初日にクラス分けテストを行い、レベル別のクラスに分かれ授業を行う。Elementary、Pre-intermediateのクラスは、週23時間のGeneral Englishを履修する。Intermediate以上のクラスは、週15時間のGeneral Englishおよび週8時間の選択授業（ニュージーランド文化またはIELTSテスト準備クラス）を選択することができる。General Englishでは、Reading、Listening、Speaking、Writing、Grammar and Vocabularyを中心に学習し、少人数でグループワークを主にを行いながら、総合的なスキルを身につける。 週末は自由行動となり、小旅行など課外活動も充実している。	
帰国後	
【必須】 ・ 留学報告書の作成 ※参加者が作成した留学報告書は国際交流センターにて閲覧することができる。 ・ 留学報告会にて留学内容・成果の発表 ・ 留学前と留学後にTOEFL ITP®テスト、CASECの受験。	

研修先名②	翰林大学校
国	韓国
渡航期間	2025年8月24日（日）～12月22日（月）
単位認定	学部によっては認められる。
参加者数	1名
現地学習内容	
Beginner～Advancedレベルのクラスがあり、各々のクラスで韓国語や韓国文化を学ぶ。基本的に韓国語で授業を行い、15以上のクラスから、4～6クラスを自由に選択できる。各クラスともディスカッションやプレゼンテーションなど、主体的な取り組みが求められる。1クラスは50分または75分の授業となる。 大学内にはバディプログラムやクラブ活動など、様々なコミュニティがあり、学生は自由に参加し現地学生との交流を深めることができる。 週末は自由行動となり、他の留学生とのルームシェアによる寮生活から学ぶことも多い。	
帰国後	
【必須】 ・ 留学報告書の作成 ※参加者が作成した留学報告書は国際交流センターにて閲覧することができる。 ・ 留学報告会にて留学内容・成果の発表 ・ 留学前と留学後に韓国語能力試験の受験	